

令和7年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

COMPASS 発達支援センター樟葉



計測日: 令和7年10月16日
公表日: 令和8年4月7日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		法令に適した広さを確保し、整理整頓を心がけながら、その日の利用児童に応じて柔軟に対応ができるよう職員で日々話し合いをおこなっております。	今後も適切なスペースの確保と環境整備に努めてまいります。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		基準配置を超える職員数を確保し、児童の成長に応じてマンツーマン保育も実施しております。療育に携わる職員は全員が資格者です。	今後も適切な人員配置を維持し、安定した運営に努めてまいります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		児童の特性や状況に応じた環境作りについて職員で話し合いをおこない、日々、整理整頓、定期的な見直し改善に努めています。構造的に段差は少なく、緩なバリアフリーになっております。	今後も児童一人ひとりの特性に応じた環境づくりを心がけてまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		定期的な室内の換気をおこない、療育終了後は使用教材の整理整頓、室内の清掃掃除を実施し、清潔を保っています。また、活動空間は日々検討し、利用児童に合った環境設定に努めています。	今後も児童の状況に応じた環境づくりを心がけてまいります。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		児童の特性や体調、情緒に合わせて適切な部屋を使用し、支援をおこなっております。	今後も児童の状況に応じた環境づくりを心がけてまいります。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		毎日、サービス提供前に職員が集まり支援について話し合う時間を設けています。定期的な評価や課題分析を通じ、共通理解の促進に努めております。	今後もPDCAサイクルによる業務改善に職員全員で取り組んでまいります。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年のアンケート結果をもとに保護者様のご意向を把握し、職員で情報共有をおこない、業務改善に活かしております。	今後も保護者様のご意見を把握し、業務改善に反映してまいります。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日職員で打ち合わせをおこない、職員の意見や疑問を話し合い、必要な業務については見直し等をおこなっております。	今後も職員全員で業務改善に努めてまいります。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		本社配属の動画研修や事業所研修、社内療育研修などを定期的に実施しております。	今後も定期的な研修をおこない、職員の資質向上を図ってまいります。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公式Webサイトにて公表しております。	今後も公式のWebサイトにて公表してまいります。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		定期的な保護者様との面談により作成前にアセスメントをおこない、児童の状況や成長・課題を確認し、支援計画に反映しています。	今後も適切な手順を踏み、支援計画の作成に努めてまいります。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		面談・アセスメントにて保護者様のニーズ聞き取りや課題を明確に捉えた後、職員間知のうえで意見を出し合い客観的に分析し支援計画が作成されております。	今後も全職員の共通理解のもと、支援計画を作成してまいります。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画の内容は職員全体に周知し、目標に沿った支援を設定しています。毎日職員全体で話し合い、日々の支援内容を設定しております。	今後も全職員の共通理解のもと、計画に沿った支援を実施してまいります。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		モニタリングでは、標準化されたチェックシートを用いてアセスメントを実施し、聞き取りを通じて情報を集め、児童の特徴や状況を把握しております。	今後も標準化されたチェックシートを用いて児童の把握に努めてまいります。	
	16 放課後等デイサービス計画は、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		五領域を設定し、利用児童の特性に合わせた支援内容を設定しています。	今後もガイドラインに沿って個別に応じた支援計画を策定し、保護者様に分かりやすい支援内容の提供に努めてまいります。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		支援計画をもとに、チームで立案・役割分担し、協力して支援をおこなっております。立案内容は、日々の話し合いで見直し、より良い支援の提供に努めております。	今後もより良い支援の提供に向け、チームでの立案に努めてまいります。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		季節を取り入れた制作や行事、個別療育以外の小集団療育等、利用児童の状況に合わせた日々の活動プログラムを提供しております。系列事業所との情報交換や専門職の手法等、多様な意向を汲み上げた支援をおこなっております。	今後も活動が固定化しないよう個別に応じた支援をおこない、保護者様への伝達にも配慮してまいります。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		計画に基づき個々の発達段階に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせ対応しております。PDCA サイクルに基づいた確認も怠らないようにしております。	今後も適切な支援計画の作成に努めてまいります。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日職員で打ち合わせをおこない、職員配置や環境設定をおこなっております。その日の担当を定めながら、利用児童全員に対して共通理解と支援にあたることをできるよう情報共有に努めております。	今後も支援にあたり重要な時間と捉え、情報共有と認識の統一に努めてまいります。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		一人ひとりのその日の支援に対し、成功点・工夫点・気になる点などを出し合い、次回利用時の支援に繋げています。伝え遅れのないよう、職員連絡帳等で後日も共有できるようにしております。	今後も支援における大切な時間として位置づけ、情報共有と理解の一致を図ってまいります。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の療育内容・体調・生活状況の気づきも記録し、職員間および保護者様と共有しています。また、共有した内容をもとに話し合いをおこない改善策に繋げております。	今後も適切に丁寧な記録に努め、検証・改善に活かしてまいります。	
	23 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的なモニタリングや、保護者様からの相談・日々の会話をもとにご要望を取り入れながら、児童の状況把握や見直しの必要性を検討しています。	今後も児童の状況を明確に保護者様にお伝えし、モニタリングと計画見直しを随時おこなうよう努めてまいります。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		放課後等デイサービスのガイドライン記載の4つの基本活動を基に個々に応じた支援をおこなっております。	今後も個々に応じた支援を提供できるよう努めてまいります。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		言葉だけでなく、個々に応じた視覚支援もおこない、自己選択や自己決定ができるよう支援をおこなっております。	今後も個々に応じて、自己決定をおこなえる環境づくりや支援に努めてまいります。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			相談支援事業所が機能していないケースもあり、セーフティな担当者会議は少ないですが、状況に精通した職員が参画し、必要に応じて関係機関との情報共有に努めております。	今後も児童発達支援管理責任者を中心に、職員全体で児童の状況把握と支援に努めてまいります。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて子ども発達支援センターや保育園・幼稚園、小学校と連携しております。送迎時に園の先生方とお話しすることもあり、関係機関連携を図って支援をおこなっております。	今後も関係機関と連携し、支援に関する共有と相互理解に努めてまいります。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確保等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		送迎時や保護者様を通して、学校の行事予定や下校時刻などの把握をおこなっております。また、トラブル発生時にはすばやく対応できるように努めてまいります。	今後も学校や保護者様と情報の共有を適切におこなってまいります。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		保護者様を通して情報を発信し、必要に応じて関係機関の先生方と連携をとっております。	今後も関係機関と連携し、支援に関する共有と相互理解に努めてまいります。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		開所から現在まで、該当する児童は在籍しておりません。	今後必要とする児童が在籍する場合には、関係機関との連携を大切にし、支援内容等の情報共有と相互理解に努めてまいります。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		感染拡大防止のため、外部での参加はひかえております。	今後は感染予防に配慮しながら、必要に応じて検討・実施してまいります。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		コロナ禍で一時的に中止となり、再開の目途は立っておりません。	今後は感染予防に配慮しながら必要に応じて検討・参加してまいります。	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8		感染拡大防止対策以降、外部での参加は控えております。	今後は感染予防に配慮しながら、必要に応じて検討・参加してまいります。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時や家族支援で自宅の様子をお伝えしながら適切な助言に努めています。また、こちらからの気づいた点をお伝えすることで状況や課題が明確になり共通理解が深まっております。	今後も保護者様との日常的な会話を大切にし、気軽に相談いただける信頼関係づくりに努めてまいります。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		感染拡大防止以降、研修等の開催は控えさせていただきます。今後は、感染予防も考えながらの開催を検討実施してまいります。	今後は感染予防や個々のニーズ、保護者様のご意向も踏まえて、開催を検討・実施してまいります。	
	保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に運営規定、利用者負担等について丁寧な説明に努めてまいります。また質問やご不明点がないかなど確認をしながら進めてまいります。	今後も児童の状況や発達に応じた支援計画を作成し、丁寧な説明を心がけ、ご理解と同意を得られるよう努めてまいります。
		37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談・アセスメントにて保護者様のニーズや課題を把握後、職員共有・意見交換し、客観的に分析して支援計画を作成しております。計画の見直しは、ご要望にお応えし、その都度おこなうことが可能です。	今後も児童の状況や発達に応じた支援計画を作成し、丁寧な説明を心がけ、ご理解と同意を得られるよう努めてまいります。
		38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行う、保護者等から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		保護者様とお話の中でガイドラインに沿った支援計画を立て、その計画に対して、ご意向・課題を相違がないか確認しながら充分な説明のうえ同意を得ております。	今後も児童の状況や発達に応じた支援計画を作成し、丁寧な説明を心がけ、ご理解と同意を得られるよう努めてまいります。
		39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言や支援を行っているか。	8		送迎や家族支援で自宅の様子をお伝えしながら適切な助言に努めています。また、適時面談をさせていただいております。	今後も保護者様との日常的な会話を大切にし、気軽に相談いただける信頼関係づくりに努めてまいります。
		40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さよふたひ同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		感染拡大防止以降、保護者様の就業の状況の観点から開催は控えさせていただきます。今後は、保護者様のご意向等をふまえたがら必要時間への検討をしております。	今後は保護者様のご意向をふまえ、必要に応じて開催の検討をおこなってまいります。
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備することや、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		8		保護者様からの申し入れやご相談に対しては、職員全体に周知し、状況説明かつ可能な範囲での対応を伝え、その後、迅速かつ適切な対応を心がけております。	今後も誠実かつ迅速な対応を心がけ、相談しやすく信頼できる事業所を目指してまいります。	
42 定期的な通信費や発行手数料、HPやSNS等を活用することにより、活動頻度や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		8		季節ごとのCOMPASSにより毎月事業所よりアプリにて掲載しております。また、公式Webサイトにて活動内容や児童の成長について報告しております。	今後もより内容を充実させ、継続的な情報発信に努めてまいります。	
43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		8		個人情報に記載した書類は鍵付き書庫等で管理をおこなっております。掲載等にもその都度確認し、保護者様の同意を得たうえで慎重に取り扱っております。	引き続き個人情報の慎重な取り扱いと厳格な管理に努め、職員全体で情報管理の意識向上に努めてまいります。	
44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を怠っていないか。		8		口頭だけでなく、書面や提示物等のできる限りの手段を活用して情報伝達に配慮し、保護者様に分かりやすい説明を心がけております。	今後も一つの手法にこだわらず改善を重ねより良い意思疎通と情報伝達手段の拡充に配慮してまいります。	
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		感染拡大防止・個人情報保護の観点から地域交流は控えさせていただきます。	保護者様のご意向に応じて、利用児童の安全を第一に考え、可能な範囲での取り組みを検討してまいります。	
非常時等の対応		46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを策定し、見やすい場所に掲示しております。感染症対応については流行時期に合わせて、対応方法のシュミレーションをおこない、防災訓練については定期的にさまざまな状況を想定した訓練を実施しております。	今後も職員による周知と訓練を継続し、マニュアルの定期的な見直しと共有に努めてまいります。
		47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に地震、火災等を想定した訓練を実施しております。	今後も定期的に異なる想定で避難訓練を実施し、突発時の職員対応力向上と災害への備えに努めてまいります。
		48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	8		アセスメントやモニタリング時に必要な情報を詳細に把握し、全職員に通知しております。	今後も児童の状況確認と的確な対応の為、定期的な保護者様への聞き取りと職員全体での理解の一致に努めてまいります。
		49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	8		アセスメント時にアレルギー調査について話をさせていただき、全職員で情報を共有し、対応しております。	今後も誠実かつ迅速な対応を心がけ、相談しやすく信頼できる事業所を目指してまいります。
		50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		ガイドラインに基づいて、安全計画を作成し、定期的に研修、訓練を実施し、安全管理について全職員共通理解のもと支援をおこなっております。	今後も継続的な実施と見直しを通して、安全管理に努めてまいります。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づき取組内容について、公式Webサイトやお知らせなどに提示されているか。	8		安全計画及び安全に関する取組内容について公式Webサイトやお知らせなどに提示しております。	今後も突発時に備え、職員の対応力向上に向けた定期的な取り組みをおこなってまいります。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット報告書の作成、保管をおこない、再発防止に努めております。	今後も危機回避と予防のために記録を継続し、事故防止に努めてまいります。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		毎年社内開催される研修に参加し、内容を職員間で情報共有し、虐待防止マニュアルに沿って実施しております。	今後も研修時に限らず、職員間の話し合いや対応方法の確認を通じて研修機会を増やし、継続的な虐待防止に努めてまいります。	
	54 どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		利用契約書では身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなうなければならぬ場合は保護者様の了解を得ております。	身体拘束の必要性については随時検討を重ね、やむを得ず実施する場合は早期の改善に努め、保護者様に丁寧な説明と報告をおこなってまいります。	